

Matta High School Library News

石川県立松任高等学校図書委員会 平成30年5月号

図書委員会が新メンバーでスタートしています。広報班は図書館だよりのレイアウトを考え、読書班は本の紹介やポップを作成し、選書班は図書館に入る本を選んでいます。整理班は図書の配置換えを考え中、展示班は分類番号の切り抜きを作成しています。昼休みのカウンター当番は5月は3年生、6月は2年生が曜日ごとに行っています。広報班の打ち合わせでは、2年生の犀川沿いを歩く金沢めぐり、3年生の加賀のフルーツランドでのバーベキューや月うさぎの里でうさぎとの触れ合いなど、5月の遠足の話や部活動の大会の話に花が咲いていました。2年生になり初めて図書委員になった広報班のメンバーはライトノベルが好きで、おすすめは「サクラダリセット」という三日間時間が戻る主人公のお話です。これからもみなさんにおすすめの本を選んだり紹介したり、親しみやすい図書館を目指して活動していくので、ぜひ図書館に足を運んで下さい。

新任の先生おすすめ本

黒川たまみ先生（音楽）

書名：『思うは招く』

著者名：植松努 宝島社：刊

皆さん、ロケットや人工衛星を作る会社、と聞くと、大企業を思い浮かべるでしょうか？

北海道のとある田舎町、赤平には、従業員たった18人の町工場「植松電機」があります。植松社長は小さい頃から夢を本気で信じ諦めずに自分の道を進み宇宙開発に携わる夢を実現しました。

「どーせ無理」を「だったらこうしてみよう」に置き換えるだけで、人の可能性は広がります。本書は、そんな言葉がたくさん載っています。読みやすいですので、是非手に取ってみてください。

上杉英先生（商業）

書名：『風が強く吹いている』

著者名：三浦しをん 新潮社：刊

毎年正月に行われている箱根駅伝をテーマに書かれている本です。

自分にとって「強い人間」とは、どんな人なのか考えさせられるきっかけになりました。

皆さんもぜひ一度読んでみて、本当の強さ、そしてカッコイイとは、どんなことしている人なのかを考えてみてほしいです。

高下孝治先生（国語）

書名：『龍馬が行く』

著者名：司馬遼太郎 文芸春秋：刊

とにかく主人公坂本龍馬が生き生きと時代を躍動する姿は圧巻である。幕末という日本の歴史の転換期に日本を変えるためにその時代一番活躍し、今なお人気がある龍馬の幼少期から暗殺されるまでの生涯を作者が心を込めて書いた作品である。読んだ後に何故か心に爽やかな風が吹き、少し頭が良くなつた気がする名作である。



図書委員おすすめ本

だんしょう

書名：断章のグリムXVI 白雪姫・上

著者名：甲田学人 KADOKAWA：刊

『普通』なんて、いつか壊れて、ここに戻ってくるよ。蒼衣ちゃんは私の『王国』の国民なんだからー！

少女・葉耶の悪夢に苦しみ、過去のトラウマを感じる高校生の白野蒼衣。だが、彼は〈泡禍〉と出会いまで、葉耶の存在と過去に本当に起きていたことも忘れていたー。

主・鹿狩が帰ってくることのない神狩屋。活動停止と命じられた時櫻雪乃は、そのみが拠り所かのように待機することしかできない。さらに蒼衣も、神狩屋の書斎で膨大な資料から手がかりを探すしかない。何度もその作業をするとき、蒼衣が見つけたのは一つのスクラップブック。

そこにはー。